

### 瑞 祥 新 春

### 西 身 延 具 足 山 妙 本 寺 特 集

具足山妙本寺は、岡山県吉備中央町にある日蓮宗古刹の由緒ある寺院です。その縁起は、文永8年(1271)9月12日、時の鎌倉幕府執権北条氏は日蓮聖人の処刑を企て、鎌倉竜ノ口の刑場に連行し、日蓮聖人の首をはねようとしたが、不思議な事に振り上げた刀に光り輝く光の玉が飛来し、日蓮聖人の首をはねることが出来ませんでした(宗祖竜口法難)。その光景を目の当たりにした北条氏の家来で、その処刑の警護の役人であった伊達朝義公は一転、日蓮聖人に帰依し信者となり、そのことから幕府より現在の吉備中央町に配置替えを命じられました。移り住んだ伊達公は、それでもなお日蓮聖人への思いが断ち切れず、聖人が心安く法華経を広められる場所を建立したいとの思いから創建されたのが妙本寺の始まりです。後に京都より日蓮聖人の曾孫弟子にあたる大覚大僧正妙実上人は、日蓮聖人像と御真骨を携え、伊達公を訪ねこの地に訪れ、その時に大覚大僧正の法門を聞いた現・高梁の米山四代目難波新左衛門(現・新町難波家遠祖)は、その教えに深く感銘を受け、高梁の地に最初の法華経の道場を建立したのが巨福寺の始まりでもあります。また妙本寺は、西国最初の日蓮宗寺院として県下唯一の「日蓮宗宗門史跡」の指定も受けており、毎年9月12日は「秋の妙本講大祭」として、地域を挙げてご祈念や万灯行列、花火大会などとても賑やかに行われており、現在のご住職・平野信行上人で、伝燈61代目を数えております。



妙本寺本堂(県指定重要文化財)



屋根大改修後の本堂(令和4年)



御真骨堂



三十番神堂(国指定重要文化財)



秋の妙本講の様子

## 7月24日 巨福寺最上稲荷・諸天善神 祈願祭・夏祭り

真夏の7月24日夕べ、巨福寺に鎮守としてお祀りされている最上稲荷神及び三十番神や鬼子母神など様々な諸天善神の祈願祭・夏祭りが行われました。コロナ禍により2年中止となっておりましたが、この度は例年通り祈願法要に加え、ほうろく灸加持やじ引き、その他かき氷やヨーヨーすくいスーパーボールすくいなどが催され、たくさんの方々や子供たちが訪れ、賑やかに執り行われました。今回久しぶりにたくさんの笑顔に触れ、あらためて切に願うことは、1日も早くこのコロナ禍が終息し、もとの平穏な生活にもどれることを願うばかりです。



## 8月19日 盂蘭盆・施餓鬼会大法要

夏祭りと同じく、こちらも恒例の盂蘭盆・施餓鬼会大法要が8月19日、3年ぶりに寺院及び参拝者有りの形式で行われ、各家先祖供養、永代供養の方々や法界万霊のお盆追善供養が為されました。近年のコロナ禍で、各業界もさることながら、我々儀式業界も縮小の一途ではありますが、やはり先祖供養にあっても、1人でも多くの合掌や祈りが、我々や我々のご先祖様の安らげく安穏な姿につながることを、あらためて痛感する次第であります。合掌



☆「巨福寺」「巨福寺ペット霊園」ホームページ 配信中☆

◎今後の行事予定 : 1月14日(土)14時~ お焚上げ 1月29日(日)14時~ 節分会・福引き抽選

2月15日(水)10時~ 釈尊涅槃会 3月18日~24日 春彼岸 4月29日(土)花まつり・総会